

◇ **令和3年度 指定管理者事業評価書**

施設名	水生植物公園みずの森			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針	
施設所管課	建設部	公園緑地課	初年度	175,490,000円	12,812,800円	188,237,222円	利用料金の実績は計画より少なかったが全体としてバランスのとれた収支であった。	都市公園であるみずの森の豊かな自然と調和を図り、子どもから大人まで利用できる公園としての運営	
施設HPアドレス	http://www.seibu-la.co.jp/mizunomori/			2年目	177,100,000円	12,418,500円	187,318,706円	新型コロナウイルスの感染拡大による臨時休園などにより人件費を抑えながら園地整備を主体に支出した。	見やすく、いつ来ても見所がある公園を目指すとともに、安らぎの空間を提供するよう運営を行った。
指定管理者名	近江鉄道ゆうグループ			3年目	177,100,000円	14,835,300円	192,893,770円	昨年に続き臨時休園が発生したが、25周年事業等PRを行い集客に努めた結果、昨年を上回る利用料金収入があった。	コロナ感染防止対策を行い、企画展や自主事業を行い、楽しめる植物公園の維持に努めた。
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日			4年目					
評価対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日			5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	利用料金制
指定管理者による運営開始日	平成25年4月1日
施設の供用開始日	平成8年7月13日
指定管理導入前の運営形態	市直営

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価… ☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価… ☆☆☆
<p>年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、一般の参加無しで実施した「ハスいっぱいプロジェクトハスの植え付け体験」であったが、今年度は実施方法を見直し、感染防止対策を講じて一般参加者と共に植え付けを行い、園内がハスでいっぱいになった風景を来園者と共にご覧いただくとともに、活動を通してかつての群落の風景を少しでも多くの方の心にとどめておけるよう努める。 ・2021年度は開園25周年を迎えるため、ハスをテーマにした特別企画を実施し、参加者や来園者それぞれが持つハスに対する思いを共有することで、かつての琵琶湖に咲くハス群落を知らない新しい世代にもハスが身近な植物であり続けられるようみずの森が情報発信の拠点になる。 	<p>事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)</p> <p>新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されるなど、コロナ禍の影響が大きい一年だったが、利用者の協力を得ながら入り口での検温および手の消毒などを実施し、安心安全に施設を運営・活用することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月29日から5月11日までと、8月27日から9月30日まで、計約1.5ヶ月の休園期間があったものの、ハス関連事業として、「ハスいっぱいプロジェクト」、開園25周年を記念して「ハスウィーク」として例年より期間を拡大し、ハスに関するイベントで「草津に咲かせよう蓮の花」を実施され、みずの森ならではのイベントのほか、多くの企画展やイベントを開催された結果、昨年度よりも入園者が増加した。 ・みずの森は有料施設として魅力ある植物管理および企画・展示等を行う必要があることから、今後も宣伝・PRを十分にしながら日々の植物観察および状況変化に応じた適切な管理運営に努められたい。
<p>事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大を受け、4月29日から5月11日までと、8月27日から9月30日までを臨時休園をすることとなり、加えて臨時休園前後でも来園者の落ち込みがあった。しかし、みずの森開園25周年記念事業を7月に企画し、県内外に広報活動を行い集客に努めた結果、7月の1ヵ月で17,225人の来園者があった。また、年間でも92,061人となり、前年比117%になった。 ・新型コロナ感染拡大防止対策を講じて、企画展やイベントを開催。「ハスいっぱいプロジェクト」では一般市民の方や近隣小学生と一緒にハスの植え付けを実施することができた。また、開園25周年を記念して7月にハス関連のイベントを1週間行った「ハスウィーク」や「草津に咲かせよう蓮の花」作品展を開催した。 ・植栽管理では、クスノキなどの大きく育ち過ぎた樹木の切り戻しなどを行い、全体のバランスをとった修景を創出。また、新たな施肥方法を採用し、良好な生育環境を維持するように努めた。 	<p>公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証</p> <p>(応募状況：公募)</p> <p>施設管理に関して、民間による高い管理技術と経済的運営を行う管理者を求めため公募による選定とした。</p> <p>(利用料金制度：導入)</p> <p>今期から、利用料金制を導入したことに伴い、中学生以下の入園料を無料、65歳以上の大人の入園料を半額にしたことにより、65歳以上の入園者数の増加につながった。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため約1.5ヵ月休園したが、ハスをテーマにした特別企画等により入園者は昨年に比べ増加しそれに比例し入園料収入(119%)も増えるなど、安定した運営に努められている。</p>

◇施設に係る主な指定管理業務	
水生植物公園みずの森の運営管理において、目指す植物園像の趣旨を十分理解して、管理業務仕様書に沿って次の業務を行う。	
(1) 有料植物園としての植物等の管理・展示業務、(2) 利用者満足度を高め、入園者数を確保する業務、(3) 快適な環境を提供するための施設の維持管理業務、(4) ノウハウを活かし、ニーズに合った自主事業、(5) 公園の運営管理業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

植物園としての植物等の管理・展示に関する業務（仕様書その1 p 4～12、17、その2 P 4～61）				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	アトリウム内の整備を進め、サボテンエリアの拡大やスレイン鉢などを使ったスポット展示などデザイン性を加えた展示を増やした。さらに屋外では3年計画で進めているシダレザクラの柵更新や遊具広場横にツツジの回廊を設置し、見所スポットの創出を行った。	上半期評価	魅力ある植物園作りとして、見どころの創出（サボテン展示、ツツジ回廊）及び改修（サクラ柵）について評価する。また、種苗会社との提携で展示装飾および芝のよい管理がなされている。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	菊花展では、懸崖菊に加えキャラクターをデザインしたトビアリーを加えることで、お子様ご家族に大変好評となった。また大菊も約150鉢を展示し、愛好家からも好評をいただいた。冬期整備の新たな取組みとしてエアースコップを用いた施肥を実施、根を痛めず深く肥料成分を施肥できることからこれまで以上の効果を目指した。	下半期評価	コミュニティ広場を中心とした、キクの展示装飾をはじめ、アイスチューリップや草花を多数展示装飾できた。
☆☆☆☆		☆☆☆		

利用者満足度を高め、入園者数を確保する業務（募集要項 P 11～12、仕様書その1 p 7～8、23）				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	植物に見ごろに合わせたPRに加え、7月の開園25周年記念事業等を企画広報することで、臨時休園があったにも関わらず入園者増につながり、上期では50,643人（前年比115%）となった。加えて、コミュニティセンターを公園をつないでリモートによる園内ガイドや近隣公共施設へのスレイン・ハスの貸出などを行いみずの森のPRに努めた。	上半期評価	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月29日から5月11日まで、8月27日から9月30日まで休園となったものの、開園25周年を記念したイベント等により昨年度比115%の入園者数増とすることができた。
	☆☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	冬期の花の少なくなる時期に、ロータス館エントランスホールにハロウィン大型装飾を設置、その後も、クリスマス装飾、干支とラン展示と途切れることなく見所を用意したことで、冬期の来園者もそれほど落ち込むことなく維持でき、41,418人（前年比120%）となった。3月にはサクラのライトアップを実施し、花影の池に浮かぶサクラの演出など新たな取り組みで集客を行った。	下半期評価	下半期の展示装飾（キク、ハロウィン、アイスチューリップなど）について、みずの森の特色を生かした事業が実施できたことに加え、マスコミなど各種情報提供を効果的に活用し、昨年度比120%の入園者数増とすることができた。
☆☆☆		☆☆☆☆		

快適な環境を提供するための施設の維持管理業務（仕様書その1 p 12～15、その3 p 1～94）				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	ロータス館スロープの段差解消を直営で行い、経費の節減に努めた。映像ホール倉庫での雨漏りについては、その原因がなかなか特定できず降雨や排水の状況を入念に確認した結果、配管の地中部での根詰まりによる排水不良であることが判明、直ちに異物除去を行うとともに、その他配管の点検を実施し、不良箇所の早期発見に努めた。	上半期評価	施設清掃メンテナンスについて、常に美しく清掃が実施されている。今後も、ファシリティマネジメントや長寿命化を考慮したメンテナンスも意識し、また有料都市公園施設としての安心・安全・美観にも配慮したメンテナンスを実施されたい。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	施設の定期点検を確実にし、不良箇所の発見と早期修繕に努めた。さらに、周辺エリアからの来園をスムーズにするため、県道や道の駅に設置している大型看板を更新し、集客に努めた。安全な作業環境を確保するため、熱中症予防のため冷風機の設置や、転落防止のため急な階段に手摺を設置した。	下半期評価	施設清掃メンテナンスについて、常に美しく清掃が実施されている。安心安全な環境を整え、またファシリティマネジメントや長寿命化を考慮した適切な管理がなされている。
☆☆☆		☆☆☆		

ノウハウを活かし、ニーズに合った自主事業の実施（提案書Ⅲ-8（6）p 65～69、仕様書その1 p 16、18）				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	サボテン・多肉植物の販売が好評であったため、新たに滋賀富貴蘭会の協力でフウキランの扱いを開始し、シニア層から好評をいただいた。また、水草展開催中の水草販売やハスイークでの近江鉄道鉄道・バスのグッズ販売を行い、これまでとは違った利用者層にみずの森を周知することができた。	上半期評価	植自主事業である植物販売において、サボテンや多肉植物の販売が好評であったことを受け、販売の取り扱いを増やすなど、利用者ニーズに合った事業が実施できた。
	☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	3月に夜間無料開園とサクラのライトアップを実施した。期間中はスタッフによるサクラガイドに加え、くさねっこメンバーによるコーヒーマーケットの販売も行い、花影の池に浮かび上がるシダレザクラの姿など幻想的な風景を見ながら一服できる癒しの空間を演出することができた。	下半期評価	3月の夜間無料開園では、サクラのライトアップやスタッフによるガイドを実施したほか、市民活動団体とともに協力して魅力的な事業展開が実施できた。
☆☆☆		☆☆☆		